取 扱 説 明 書

屋内用多機能タイマー　システムカウンター　**SCX**シリーズ

RS485

このマークのついた
モルテン表示器は、
他機種であっても
連動できます。
(P5 <5>-(3))

目　次

◀1▶	安全上のご注意	1	はじめに
◀2▶	使用上のご注意	2	
◀3▶	各部のなまえ	3	
◀4▶	はたらき （1）停電補償 （2）メモリーバックアップ （3）早送りキー （4）ブザー音色切換 （5）コールブザー （6）タイマー１分以下 1/10秒表示 （7）得点・タイマーの消灯 （8）オールリセット	4	
◀5▶	オプション（別売） （1）オプション接続図 （2）同じ機種どうしの連動 ①得点表示位置の入れ替え （3）他機種との連動	5	
◀6▶	ご使用前の準備 （1）セッティング （2）機能の選び方	6	使いかた
◀7▶	操作方法		
	（1）ダウンカウントタイマー	7	
	（2）アップカウントタイマー	8	
	（3）ストップウォッチ	9	
	（4）プログラムタイマー	10	
	（5）得点	11	
	（6）ピリオド表示	11	
◀8▶	故障かなと思ったら	12	困ったとき
◀9▶	仕　　様	12	
	保 証 書	12	

◀1▶安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告　指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項

■分解や改造をしないでください。

発火や、異常動作を起こし
ケガの原因となります。
修理は販売店にご相談くだ
さい。

■水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート、感電の
原因となります。

■電源プラグに着いたほこりはふき取ってください。

火災の原因となります。

■定格15A以上のコンセントを単独で使ってくだ
さい。

たこ足配線すると、
コンセント部が異常
加熱して発火の原因
となります。

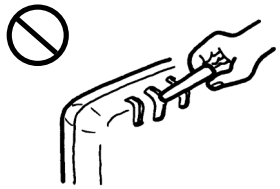
●ご使用前に,この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

molten®

⚠ 注意

指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される事項

■製品の隙間に金属物、異物を入れないでください。

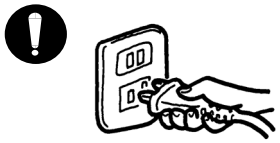


感電や異常動作を起こし、けがの原因となります。

■電源コードやケーブルを傷つけたり、自分で接続補修をしないでください。

火災の原因となります。

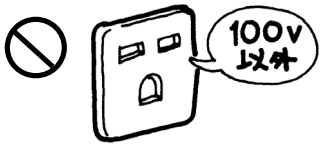
■電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



感電やショートを起こし、発火の原因となります。

■交流100V以外は使わないでください。

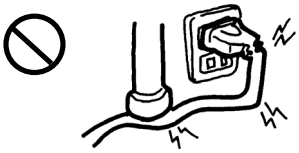
火災の原因となります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。

■電源コードやケーブルを無理に曲げたり、踏んだり、引っ張ったりしないでください。



火災、感電の原因となります。

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因となります。

■蛍光灯、点灯管交換のさいは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電の恐れがあります。　（SCXT DP）

◀2▶ 使用上のご注意

操　作

■電源のON／OFFの間隔は5秒以上あけてください。

■キーは1つずつ押してください。

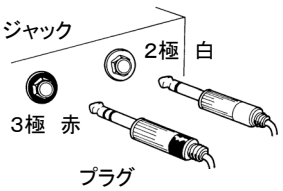
2つ以上同時に押すと、2つ目以降に押されたキーは受け付けません。

（ スタート／ストップ 、 リセット キーのみ他のキーとの同時押し可能）

■鋭利なものでキーを押さないでください。

■ケーブルのプラグとジャックの色を合わせてください。

モルテン製のプラグ、ジャックは2極が白、3極が赤になっています。



使用・保管・お手入れ

■屋外で使用・保管はしないでください。

本品は屋内使用専用ですので、防水・防塵機能はありません。故障の原因となります。

■直射日光の当たる場所で使用・保管しないでください。

変形の原因となります。

■高温、多湿、結露する恐れのある場所でのご使用・保管はしないでください。

■ぶつけたり、落としたりしないでください。

■ベンジン、シンナー、たわし等は使わないでください。

汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

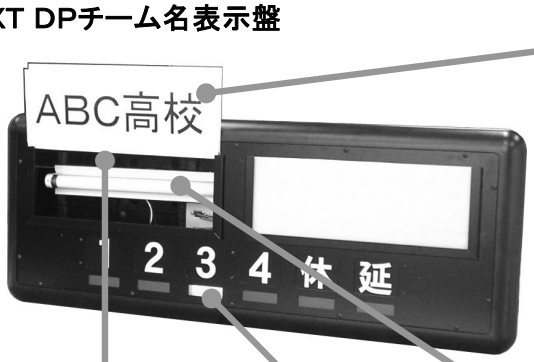
3 各部のなまえ

表示盤

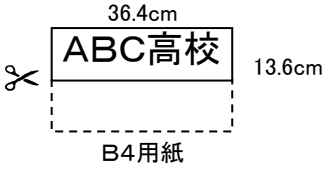
SCXD DPデラックス表示盤

SCXS DPスタンダード表示盤

SCXT DPチーム名表示盤

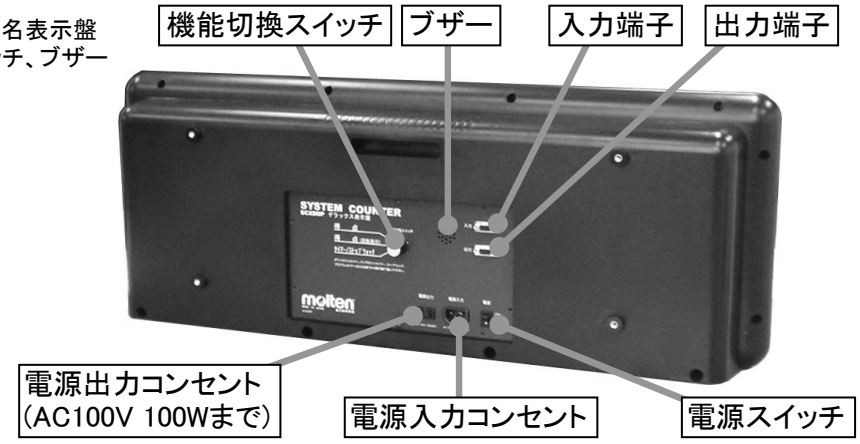


B4サイズの用紙に手書きや
ワープロで印字したものを、
カットして差し込んでください。



表示盤　背面

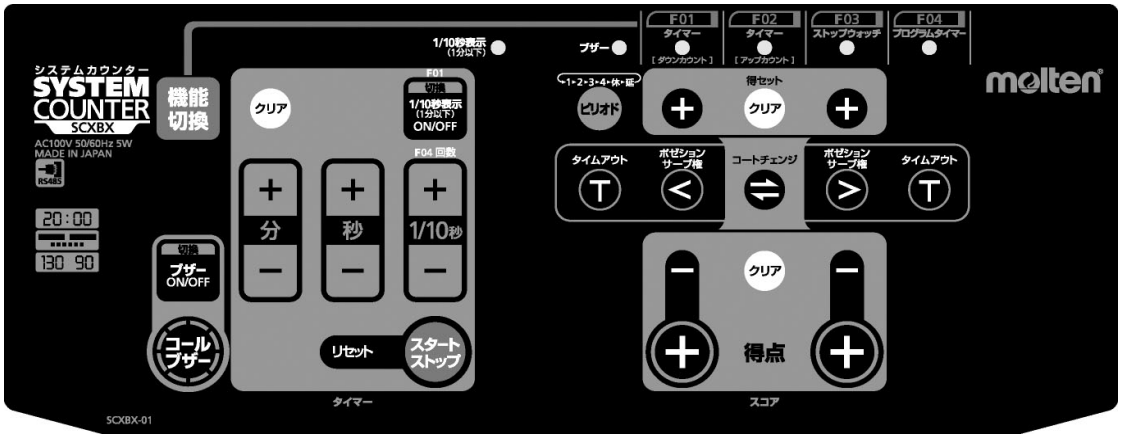
※SCXT DPチーム名表示盤
には機能切換スイッチ、ブザー
はありません。



操作盤

SCX BX操作盤

操作パネル



◀4▶ はたらき

(1)停電補償

使用中万一電源コードが抜けたり停電になった場合、表示を消灯し、カウントを停止し、電源が切れる前の内容をずっとメモリーします。

(2)メモリーバックアップ

すべての機能について、電源を切る前の表示と設定内容を、ずっとメモリーしていますので、電源を入れるたびに時間などの設定をしなくてもすぐにスタートすることができます。

（例）①タイマー:20分で使用　②電源OFF　③電源ON　④ [リセット] キー

(3)早送りキー

[分] [秒] [1/10秒] [得点] キーは、１秒以上押し続けると早送りします。

(4)ブザー音色切換

[ブザーON/OFF切換] キーを押しながら操作盤の電源スイッチをONにすると、タイムアップ時のブザー音が、通常の連続音（ビー）から断続音（ビヨビヨ）に変わります。もとに戻すときは再び電源を切り、[ブザーON/OFF切換] キーを押しながら電源を入れて下さい。

(5)コールブザー

[コールブザー]キーを押すと、押しているあいだブザーが鳴ります。
コールブザー音は、（４）ブザー音色切換で設定した音で鳴ります。 ※”OFF”の時は連続音/大で鳴ります。

(6)タイマー　1分以下1/10秒表示

機能（１）ダウンカウントタイマーは、１分以下1/10秒表示が選べます。
カウント停止中に [1分以下1/10秒] キーを押すと、残り時間が１分までは分：秒　表示、１分をきると秒：1/10秒　表示に自動的に切り替わるよう設定されます。もう１度押すと解除され、通常の分：秒表示に戻ります。

(7)得点、タイマーの消灯(機能1、2 のみ)

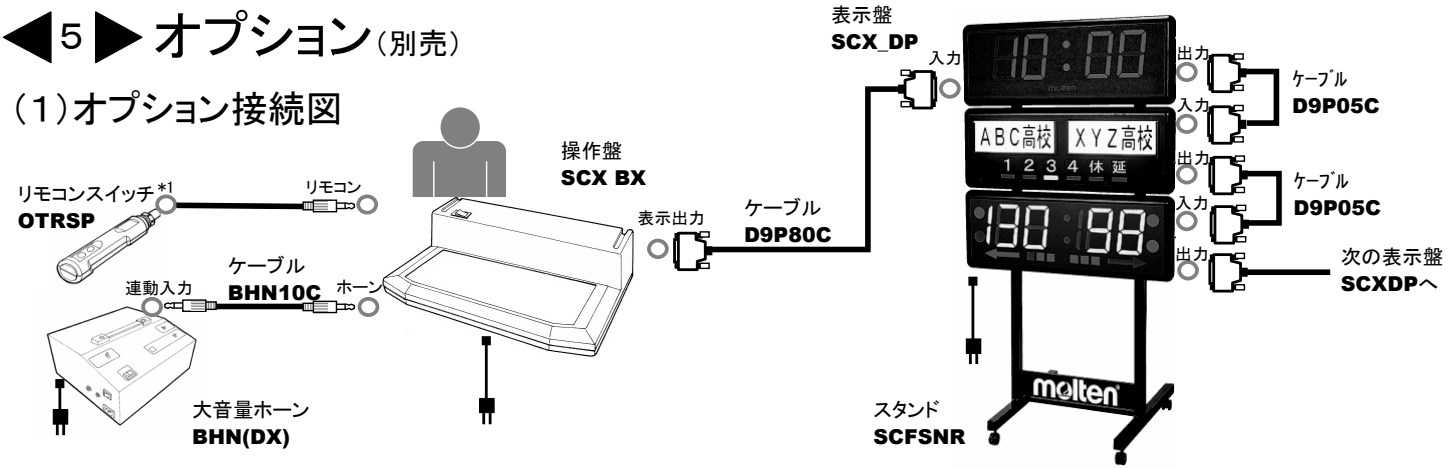
得点やタイマーなどが不要なとき消灯させることができます。
０を表示している時に [－] キーを押してください。消灯します。消灯している時に [＋] キーを押すと０に戻ります。

(8)オールリセット

ＳＣＸＢＸはメモリーバックアップ機能があるため電源を切っても時間などの設定内容はクリアされません。
全ての設定をクリアしたいときや万一動作がおかしくなったときは、タイマーの [クリア] キーを5秒以上押し続けてください。時間などの設定がリセットされます。

◀5▶ オプション（別売）

（1）オプション接続図



※1. タイマーのスタート、ストップ、リセットを行うことができます。

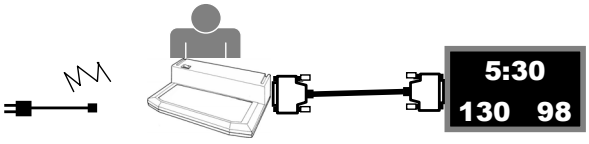
旧タイプのシステムカウンターとは、そのままでは連動できませんので、信号変換機CAXを別途お買い求めください。

（2）同じ機種どうしの連動

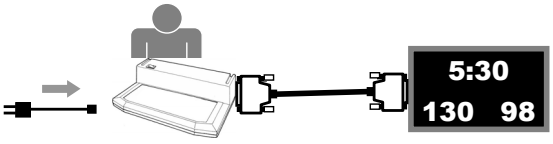
連動中うっかり・・・

■操作盤の電源コードが抜けた場合

①操作盤の電源コードが抜けた！

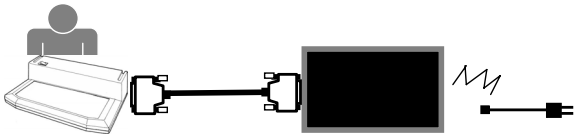


②電源コードを差すと復帰します。

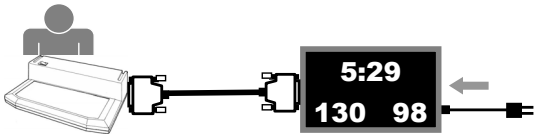


■表示盤の電源コードが抜けた場合

①表示盤の電源コードが抜けた！

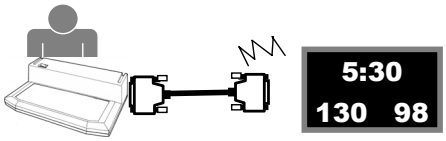


②電源コードを差すと復帰します。

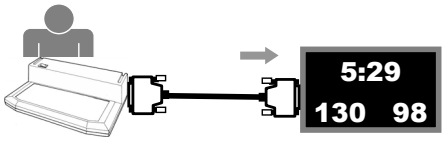


■信号ケーブルが抜けた場合

①信号ケーブルが抜けた！

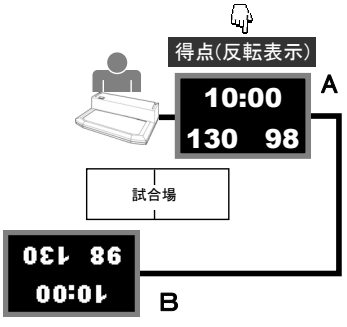


②信号ケーブルを差すと復帰します。



① 得点表示位置の入れ替え

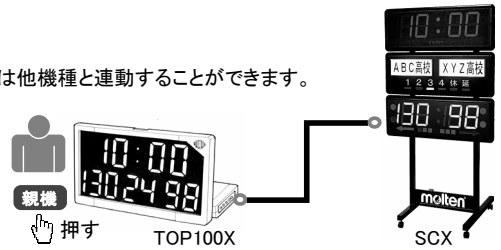
右図の場合、Aの得点表示位置はBと逆になり試合場と対応しなくなります。
その場合、Aの機能切替スイッチを「得点(反転表示)」にあわせてください。
Aの得点表示位置が試合場に対応するよう左右が入れ替わります。



（3）他機種との連動

RS485

品番末尾にXがついたモルテンカウンターは他機種と連動することができます。
（例）TOP100XでSCXDPを操作する。



◀6▶ ご使用前の準備

（１）セッティング

5ページの ◀5▶ (1)オプション接続図を参考にして、配線を行ってください。
操作盤、表示盤の電源コードをそれぞれ電源コンセント(AC100V　50／60Hz)に差し込んで、
電源スイッチを入れてください。

（２）機能の選びかた

●表示盤(SCXD DP、SCXS DP)
背面の機能切換スイッチで表示盤の表示内容を選んでください。
①得点:得点
②得点(反転表示):得点(表示の左右をコートに対応するよう入れ替えたい場合にお使いください。5ページ参照。)
③タイマー／ストップウォッチ:ダウンカウントタイマー、アップカウントタイマー、ストップウォッチ、プログラムタイマー

●操作盤(SCX BX)
(1)表示盤をタイマー／ストップウォッチとして使用するときは、操作盤の 機能切換 キーで
①ダウンカウントタイマー ②アップカウントタイマー ③ストップウォッチ ④プログラムタイマー
から機能を選んでください。(機能表示ランプが点灯します)
(カウント中は 機能切換 キーは受け付けませんので、カウントを停止させてから押してください。)
(2)メモリーされている時間を呼び出す場合は リセット キーを
設定内容を変更する場合は クリア キーを押して下さい。
※ただし、得セット、サーブ権はクリアされません。 ご使用前に表示状態をご確認ください。

◀7▶操作方法

（1）ダウンカウントタイマー

20:00（最大99分59秒）

ダウンカウントタイマーに前半・休憩・後半などの時間を最大9種類までプログラムできます。

操作手順	キー操作	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：20分） （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）	分＋1 押し続け	20:00
※1 プログラムモード 2. 休憩・後半をプログラムする場合 ①1. の前半時間をメモリーします	リセット	P 2
②休憩時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：10分）	分＋1 押し続け	10:00
③休憩時間をメモリーします	リセット	P 3
④後半時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：20分）	分＋1 押し続け	20:00
⑤後半時間をメモリーします	リセット	P 4
⑥プログラムセット終了	リセット ※ 省略可	20:00
3. 試合開始	スタート／ストップ	20:00 19:59 ⋮
6. 試合中断	スタート／ストップ	12:30
7. 試合再開	スタート／ストップ	12:30 ⋮
8. 試合時間経過 休憩・後半のプログラムがある場合は、 ひきつづき休憩時間が表示されますので、 試合時間 スタート／ストップ キーで スタートさせてください		⋮ 0:00 ピー
9. 試合時間に戻します	リセット	20:00

※1. 休憩・後半時間をプログラムしない場合は リセット キーを押さずに スタート／ストップ キーでスタートしてください。 リセット キーを押すとプログラムモードに入ります。

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分−1 、秒＋1 、秒−1 キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

（2）アップカウントタイマー

20:00 （最大99分59秒）

アップカウントタイマーに前半・休憩・後半などの時間を最大9種類までプログラムできます。

操作手順	キー操作	表示
1. 試合時間に合わせてください（例：20分） （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）	分＋1 押し続け	20:00
※1 プログラムモード 2. 休憩・後半をプログラムする場合 ①1. の前半時間をメモリーします	リセット	P 2
②休憩時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：10分）	分＋1 押し続け	10:00
③休憩時間をメモリーします	リセット	P 3
④後半時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：20分）	分＋1 押し続け	20:00
⑤後半時間をメモリーします	リセット	P 4
⑥プログラムセット終了	リセット ※ 省略可	0:00
3. 試合開始	スタート／ストップ	0:00 0:01 ⋮
6. 試合中断	スタート／ストップ	12:30
7. 試合再開	スタート／ストップ	12:30 ⋮
8. 試合時間経過 休憩・後半のプログラムがある場合は、 試合時間 スタート／ストップ キーで スタートさせてください		⋮ 20:00 ピー
9. 試合時間に戻します	リセット	0:00

※1. 休憩・後半時間をプログラムしない場合は リセット キーを押さずに スタート／ストップ キーでスタートしてください。 リセット キーを押すとプログラムモードに入ります。

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分−1 、秒＋1 、秒−1 キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、1.～2.の要領で設定しなおしてください。

（３）ストップウォッチ

59:59 （最大５９分５９秒）

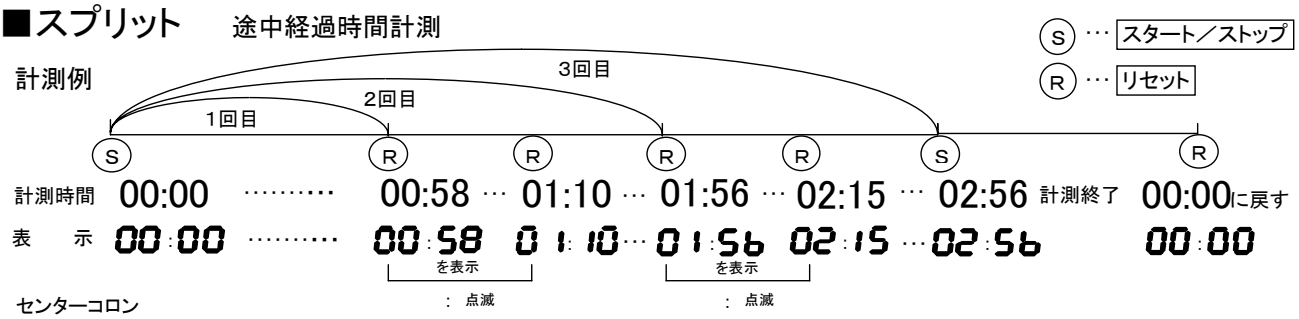
操作手順	キー操作	表示
1. スタート	スタート／ストップ	00:00 00:01 ⋮
2. ストップ	スタート／ストップ	12:30
3. 00:00に戻します	リセット	00:00

●測定時間が1時間を越えると、引き続き00:00よりカウントを続けます。

●スタート時にブザーを鳴らしたいとき
ブザーON/OFF切換 キーを押して、ブザー音の設定をONにしてください。

●1分を越えてからも1／10秒が見たいとき
1分以下1／10秒 キーを押してください。押しているあいだ1／10秒が表示されます。

■スプリット　途中経過時間計測



（４）プログラムタイマー

3:00 （最大９９分５９秒）

最大9種類の時間を連続設定できるタイマーです。

操作手順	キー操作	表示
1. プログラム1（P1）を希望の時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：3分）	分＋1 3回	P 1 3:00
2. プログラム1の時間をメモリーします プログラム番号がP2にかわります	リセット	P 2
3. プログラム2（P2）を希望の時間に合わせてください （タイマー：分＋1・分−1・秒＋1・秒−1キー）（例：1分）	分＋1	1:00
4. プログラム2の時間をメモリーします プログラム番号がP3にかわります	リセット	P 3
5. ご希望に応じてプログラム3以降を1. ～4. の要領でセットしてください（最大9プログラム）		
6. 繰返回数を設定する場合（しない場合はエンドレス）（回数＋1・回数−1キー） 希望の回数に合わせてください （例：3回）	1/10秒＋1 3回	3
7. プログラムセット終了	リセット	3:00
8. スタート プログラム1のカウントダウンがスタートし、0：00になるとブザーが鳴り、引き続きプログラム2のカウントダウンが行われます	スタート ストップ	P1 3:00 ピー 2:59 ⋮ 0:00 ピー P2 1:00 0:59 ⋮ 0:00 ピー P3 3:00 2:59 ⋮ 3回繰り返して、ストップ
9. プログラムの最初に戻します	リセット	3:00

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にタイマーの 分＋1 、分−1 、秒＋1 、秒−1 キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にタイマーの クリア キーを押して、１.～７.の要領で設定しなおしてください。

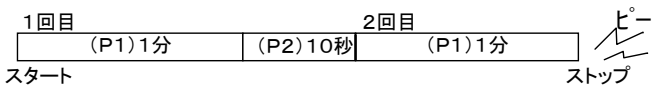
●現在の繰り返し回数を見たいとき

カウント中に 1分以下1／10秒 キーを押してください。押しているあいだ現在の繰り返し回数が表示されます。

●最後の休憩時間をなくしたいとき

８.の前に得点 クリア キーを押してください。

（例） Ｐ１にダッシュ１分を、Ｐ２に休憩１０秒を設定し、繰返回数を２回にした場合



となり２回目のＰ２（休憩１０秒）はカウントされずにストップします。

（５）得　　点

1 2 （表示最大）
ＳＣＸＤ ＤＰ 199対199
ＳＣＸＳ ＤＰ 99対 99

両チームの得点とサーブ権、得セット、タイムアウトを表示します。（ＳＣＸＳ ＤＰＸは得点表示のみ）

■得　点

操作手順	キー操作	表示
1. 左チームがポイントしました	左・得点＋1	1 0
2. 右チームがポイントしました	右・得点＋1	1 1
3. 右チームがポイントしました	右・得点＋1	1 2
4. コートチェンジ	コートチェンジ	2 1
5. 0対0に戻します	得点クリア	0 0

■サーブ権

サーブ権をとった側の サーブ権 キーを押してサーブ権表示を点灯させてください。
点灯している側の サーブ権 キーを押すと消灯します。

サーブ権と得点は独立していますので、サーブ権のない側でも得点入力を受け付けます。
●ファーストサーブとセカンドサーブの表示が必要なときはタイムアウト表示をお使いください。

■得セット

キーを1回押すごとに、1個点灯→2個点灯→消灯→1個点灯→…を繰り返します。

■タイムアウト

キーを1回押すごとに、1個点灯→2個点灯→3個点灯→消灯→1個点灯→…を繰り返します。

（６）ピリオド表示

ＳＣＸＴ ＤＰチーム名表示盤

試合のピリオドを表示します。
ピリオド キーを1回押すごとに、1→2→3→4→休→延→消灯→1→…を繰り返します。

◀8▶ 故障かなと思ったら　修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

症　状	ご確認ください（参照ページ）	使用を再開するとき
点灯しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●電源コードが断線していませんか？	●しっかり差し込んでください。 ●交換してください。 電源コードPW05C3
途中で0に戻る でたらめな表示をする	●電源を瞬間的にON/OFFしませんでしたか？(→P2 <2>) ●もとの電源が瞬間的に落ちたり大きなノイズがのると動作がおかしくなることがあります。(→P4 <4>-(8))	●電源を、5秒以上待って入れ直してください。 ●タイマー [クリア] キーを5秒以上押し続けてオールリセットを行ってください。
キーを受けない	●2つ以上のキーを同時に押 していませんか？(→P2 <2>)	●キーは1つずつ押してください。
蛍光灯が点灯しない （SCXT DP）	●蛍光灯、点灯管がゆるんでいませんか？(→P3 <3>) ●蛍光灯、点灯管が切れていませんか？(→P3 <3>)	●しっかり締め込んでください。 ●交換してください。 蛍光灯:松下電工　FL10W 白 点灯管:松下電工　FG-7E

●上記以外の異常がある場合は、使用を中止し電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

■長年ご使用のさいの点検を

このような 症状はありま せんか？	●電源コード、プラグが非常に熱い ●煙が出たり、焦げ臭い臭いがする ●本体の一部に割れ、ゆるみ、がたつきがある。 ●本体に触ると、ピリピリ電気を感じる。 ●その他、異常・故障がある。	⇒	ご使用 中止	このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に、点検・修理をご相談ください。

◀9▶ 仕　様

品　名	機　能・用　途	仕　様
ＳＣＸＤ ＤＰ デラックス表示盤	①ダウンカウントタイマー ②アップカウントタイマー ③ストップウォッチ ④プログラムタイマー ⑤得点・サーブ権・得セット・タイムアウト	幅90×奥行14.3×高さ34cm、5.3kg 数字高さ18cm　黄色 サーブ権・得セット・タイムアウト　赤色 電源　AC100V 50/60Hz　26W 電源コード：PW05C3(5m)
ＳＣＸＳ ＤＰ スタンダード表示盤	ＳＣＸＤ ＤＰから得点の百の位、サーブ権、 得セット、タイムアウトをなくした表示盤。 機能はＳＣＸＤ ＤＰと同じです。	幅90×奥行14.3×高さ34cm、5.1kg 数字高さ18cm　赤色 電源　AC100V 50/60Hz　26W 電源コード：PW05C3(5m)
ＳＣＸＴ ＤＰ チーム名表示盤	①チーム名表示（手書き、蛍光灯バックライト） 36.4×13.6cm（Ｂ４用紙を横方向にカット） ②１・２・３・４・休・延のピリオド表示	幅90×奥行14.3×高さ34cm、6.4kg 電源　AC100V 50/60Hz　26W 電源コード：PW05C3(5m)
ＣＤＷ ホワイトボード	ＳＣＸＴ ＤＰのかわりにチーム名表示として お使いいただけます。ペン、字消し付き。	幅90×高さ30cm、1.9kg
ＳＣＸＢＸ 操作盤	これ１台で全ての操作が行えます。	幅29×奥行18.2×高さ7.8cm、0.8kg 電源　AC100V 50/60Hz　5W 電源コード：PW05C3(5m)
ＯＴ ＲＳＰ リモコンスイッチ	スタート/ストップ、リセット用。得点とタイマーを 別々の人が操作する場合に使います。	縦10×横4.4×高さ2.5cm、1kg ケーブル10m
ＢＨＮＤＸ 大音量ホーン	大音量ホーンデラックス	幅29×奥行26×高さ15cm、6.2kg 電源　AC100V 50/60Hz　100W
ＢＨＮ 大音量ホーン	大音量ホーン	幅29×奥行26×高さ15cm、6kg 電源　AC100V 50/60Hz　100W
ＢＨＮ１０Ｃ ケーブル	大音量ホーンと操作盤の連動に使います。	10m、1kg
Ｄ９Ｐ８０Ｃ ケーブル	操作盤と表示盤の連結、２面表示の場合の 表示盤どうしの連結に使います。	80m、5kg
D9P05C ケーブル	上下に重ねた表示盤どうしの連結に使います。	50cm、0.2kg
SC FSNR フロアスタンド	表示盤を最大4台まで取り付けられます。	幅61×奥行71×高さ170cm、13kg

●製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後７年です。
●品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

MADE IN JAPAN

保証書

本書は下記の保証規定の内容により無料で修理および調整を行うことをお約束するものです

品　　名：システムカウンター
品　　番：ＳＣＸ
保 証 期 間：お買い上げ日より６ケ月
お買い上げ日：　　年　　月　　日

株式会社 モルテン
東京本社　東京都墨田区横川５丁目５－７
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌

■お客様

おところ	TEL(　　)　　－
お名前	様
販売店名	

保証規定

■保証期間中にお客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの　販売店にご依頼ください。※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

■保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①保証書のご提示がない場合　②保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合　③使用者側での輸送・移動時の落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合　④説明書に記載の使用方法および注意に反するお取扱い、または不良な修理や改造による故障・損傷　⑤火災・天災および異常電圧等外部に要因がある場合

■この保証書は国内で使用される場合だけ有効です。This warranty shall be valid only in Japan.